

# 令和7年度学校評価 教師用 集計結果

令和7年12月  
習志野市立第六中学校

教育活動全般についての質問	肯定率		
	R5年度	R6年度	R7年度
(1) 六中は、学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。	94%	93%	94%
(2) 六中の学校行事（体育祭・修学旅行など宿泊行事・合唱コンクール等）は、充実している。	100%	100%	100%
(3) 六中は、歌声が響く学校である。	84%	100%	97%
(4) 六中の生徒は、時と場合に応じたあいさつと言葉遣いができる。	56%	43%	65%
(5) 六中は、清掃が行き届いている学校である。	75%	86%	84%
(6) 六中は校舎内外の施設・設備や事故防止に向けた安全な環境づくりに努めている。	91%	76%	90%
(7) 六中の教職員は、いじめや不登校に対して、親身になって対応している。	100%	100%	100%
(8) 六中の教職員は、生徒の悩みや相談に対して、親身になって対応している。	97%	100%	97%
(9) 六中の教職員は、毎学期の学習内容や評価の観点について、わかりやすく伝えている。	97%	100%	100%
(10) 六中の教職員はわかりやすい授業を作ろうと心掛けている。	100%	100%	100%
(11) 六中の教職員は、将来の進路や職業について、生徒に丁寧に伝えている。	97%	100%	100%
(12) 六中の教職員は思いやりや命の大切さについて子供によく語っている。	97%	97%	100%
(13) 六中の学校生活や生徒の様子は、学校だよりやホームページ等で知ることができる。	84%	90%	97%
(14) 六中の生徒は、授業を集中して受けている。	100%	93%	97%
(15) 六中の生徒は、定期テスト前は計画的に家庭学習をしている。	63%	62%	52%
(16) 六中の生徒は、家庭での学習の習慣が身についている。（塾や習い事を除く）	50%	76%	48%

※肯定率については、「そう思う」、「だいたいそう思う」の全体に対する比率となります。なお、「判断できない」、「無回答」については、全体から除いています。

## 【まとめ】

### <評価点>

全体として肯定率が高く、概ね、教師、生徒、保護者の評価が一致しています。職員は学校教育目標「活力あふれる生徒の育成」の実現に向け、生徒一人一人の思いに寄り添い、支援・指導ができるように常に意識を高く持って、学校運営に臨んでいることが成果に結びついたのだと考えられます。

- ・(4)については、あいさつが日常生活に浸透するように、生徒会が中心に努力してきました。地域の方からも生徒の“気持ちの良いあいさつ”をお褒めいただきました。あいさつは六中の伝統の一柱です。引き続き生徒と共に挨拶が飛び交う学校づくりを目指し、職員自らが範を示し、生徒に「あいさつすることの良さ」について伝えていきます。
- ・(7)(8)ではいじめアンケートや教育相談を活用しながら、生徒一人一人の状況、思いに寄り添い、迅速に組織として取り組むように尽力しました。引き続き、実践していきます。
- ・(11)では、昨年度と同様に3年生の進路説明会に御希望のある1, 2年生保護者の方々にも御参加いただきました。資料については連絡メールでの配信及びホームページに掲載しました。また、進路だよりについては、ホームページに掲載しました。特別支援学級については卒業生をお呼びし、状況報告や卒業時の進路で考えたことなどのお話を聞く機会を設けました。社会の変化を見据えながら、進路指導について見直しを図り、生徒及び保護者の皆様に情報を伝えられるように努力していきます。
- ・(12)では、道徳教育をはじめ、助産師さんからの講話をいただくなど、「思いやりや命の大切さ」の教育に力を入れてきました。

### <課題点>

- ・(15)(16)については、学習の定着を図るために生徒自身の取り組みとして欠かせない事です。保護者、生徒アンケートでは前年度に対して改善が見られているものの、教師のアンケートとのギャップが大きく見られます。これは家庭における机に向かう時間、提出物の状況、学習結果などの状況把握の相違からくるものと考えます。「継続は力なり」という言葉の通り、毎日の学習の積み重ねが大事であり、引き続き学習計画の

立て方や学習方法を指導しながら、普段の学習の重要性や学習習慣の定着を図るために生活習慣を見直す必要性を伝えていきます。御家庭におかれましても、御協力をお願いします。

今後も授業研究や各種研修等で教師としての指導力向上を目指し、卒業時には「六中でよかった」と生徒及び保護者が思える学校づくりを目指していきます。